

協会の動き

本部分行事のみ掲載

【8月】

- 8日・第2回技術委員会(協会)
- 10日・会長が業務打合せ(県庁)
- 22日・8月度会計審査業務(協会)
- ・広報委員会関係業務打合せ(協会)
- 25日・(財)全国建設産業団体連合会総務委員会に会長が出席(東京)
- 29日・東北ブロック電気工事・管工事施工管理技士会役員会に八巻副会長が出席(仙台市)

【9月】

- 5日・50周年記念事業実行委員会・記念誌担当(協会)
- ・第2回広報委員会(協会)
- 6日・(財)県建設産業団体連合会(県建産連)参与会に専務が出席(福島市)
- 7日・(財)日本電設工業協会理事会に会長が出席(東京)
- 8日・公益法人制度改革に関する説明会に専務が出席(郡山市)
- 12日・(財)県建産連正副会長会議に会長が出席(福島市)
- ・(財)県建産連役員会に会長が出席(福島市)
- 15日・県公共建築・住宅連絡会に八巻副会長が出席(福島市)
- 19日・9月度会計審査業務(協会)
- 20日・平成18年度技術講習会(郡山市)
- ・第3回技術委員会(郡山市)
- 21~22日・(財)日本電設工業協会会員大会に各副会長と相談役が出席(札幌市)

ご意見をお寄せください

社団法人 福島県電設業協会

〒960-8114 福島市松浪町9-6

TEL:024(533)6226 FAX:024(533)6235

E-mail:fukudensethukyo@syo.odn.ne.jp

http://www.fukudensethukyo.or.jp

「新年号(平成19年)」

掲載写真の募集について

本紙新年号に相応しい写真を募集いたします。どなたでも応募できます。採用された作品は、本紙に掲載の上、薄謝を進呈致します。

募集期間：平成18年4月10日(月)~11月30日(木)
掲載時期：平成19年新年号1面(1月10日付)
応募写真：2B版以上
(カラー・モノクロどちらでも可)
デジタル写真の場合はプリントした状態でお寄せ下さい。

※掲載する写真は複数とし、1面に掲載できない写真については、2面以降に「挿絵」として掲載させていただきます。なお、印刷は白黒印刷となります。

送付先：〒960-8114 福島市松浪町9-6
(財)福島県電設業協会 宛
お問い合わせは、事務局(☎024-533-6226)まで。

工期が正味三カ月の中、殆ど残業を行うことなく施工を完了させることができた。とりわけ現場代理人の業務である「資材の発注管理や図面の作成、各種提出書類の作成、写真データの整理など」のデータや情報を本社の関係部門にリアルタイムで送り、その処理を本社で行うことにより、その分、現場代理人は「施工管理と品質管理、それと安全管理」に十分時間をかけることができ、引いては、品質の良いものを短納期で安全に収めることに繋がった。

短期間で改造工事

現場の急な施工の変更にも即座に対応することができた。埋設配管用掘削途中で、事前調査結果からは、想定外の地下埋設物により「掘削ルートや配管方法」を変更しなければならぬ状況が発生した時に、その状況を写真等のデータを現場から急ぎ本社に送り、それを確認しながらリアルタイムで変更施工図面の作成をした。そして、早急

に監督員の承認をいただき、現場作業を中断させることなく施工を継続させることが出来た。

▽三つめとして：現場代理人が施工写真を撮影し、即座にインターネット回線で本社に送ることにより、本社の「技術管理部門」で、送られてきた写真を確認し、「撮り忘れ」や「不鮮明な写真の撮り直し」があれば、その情報を即座に現場にフィードバックし、是正をした。緊急での現場写真が必要とする監督員への報告要請であつても、現場代理人が現場から

ら会社に戻る頃には、その日の写真の整理が終わっており、翌日の朝には、「監督員へ報告及び報告書の提出」ができた。

▽四つめとして：監督員から急な「書類提出要請」なども即座に対応できた。監督員からの「書類提出要請」や「追加変更に関する図面、書類等」の提出も、現場からの即座の情報入手で、急ぎ、本社各部門員が作成・確認し、監督員への提出ができ、時間のないうちで素早い対応ができたと思つた。

そのための、施工計画の段階で、埠頭内を走行する最も重い車両の最大積載量を出し、それぞれのタイヤに掛かる単位重量を計算し、車両タイヤの通過順序などを勘案の上、補強筋のせん断耐力、コンクリートの耐力を求める事によってコンクリート復旧の為の施工方法を決定し、その施工技術検討書を監督員へ提出した。

照明灯を「商用電源での全点灯状態」から、疑似停電による「非常用発電機」に切り替えたと、電圧が長いため、中間地点の照度が「埠頭保安設備基準値」の「三ルクス」に達してなかったのと経年劣化での減光率を考慮し「最低五ルクス程度」まで高める為の調整に苦勞した。照明灯のポール高さが五メートル、経間が約一メートルだったので、ちょうど中間地点での実測値は「二・五ルクス程度」であり、基準値に達していなかった。最も暗いところでは「一ルクス未満」で、ほとんど真っ暗な状態だった。中間地点での照度を上昇させる為に行った方法として、メーカ

の協力を得て、「灯具内のランプと反射板の位置関係と光の拡散角度」などの検討を行い、取り付け台座を「一八〇度回転させることで、ランプと反射板の位置関係を改善し、照度範囲を広げた。その結果、中間地点の照度は最低で「五ルクス」以上の結果が得られた。

▽三つめは：照明灯を「商用電源での全点灯状態」から、疑似停電による「非常用発電機」に切り替えたと、電圧が長いため、中間地点の照度が「埠頭保安設備基準値」の「三ルクス」に達してなかったのと経年劣化での減光率を考慮し「最低五ルクス程度」まで高める為の調整に苦勞した。照明灯のポール高さが五メートル、経間が約一メートルだったので、ちょうど中間地点での実測値は「二・五ルクス程度」であり、基準値に達していなかった。最も暗いところでは「一ルクス未満」で、ほとんど真っ暗な状態だった。中間地点での照度を上昇させる為に行った方法として、メーカ

の協力を得て、「灯具内のランプと反射板の位置関係と光の拡散角度」などの検討を行い、取り付け台座を「一八〇度回転させることで、ランプと反射板の位置関係を改善し、照度範囲を広げた。その結果、中間地点の照度は最低で「五ルクス」以上の結果が得られた。

▽三つめは：照明灯を「商用電源での全点灯状態」から、疑似停電による「非常用発電機」に切り替えたと、電圧が長いため、中間地点の照度が「埠頭保安設備基準値」の「三ルクス」に達してなかったのと経年劣化での減光率を考慮し「最低五ルクス程度」まで高める為の調整に苦勞した。照明灯のポール高さが五メートル、経間が約一メートルだったので、ちょうど中間地点での実測値は「二・五ルクス程度」であり、基準値に達していなかった。最も暗いところでは「一ルクス未満」で、ほとんど真っ暗な状態だった。中間地点での照度を上昇させる為に行った方法として、メーカ

の協力を得て、「灯具内のランプと反射板の位置関係と光の拡散角度」などの検討を行い、取り付け台座を「一八〇度回転させることで、ランプと反射板の位置関係を改善し、照度範囲を広げた。その結果、中間地点の照度は最低で「五ルクス」以上の結果が得られた。

▽三つめは：照明灯を「商用電源での全点灯状態」から、疑似停電による「非常用発電機」に切り替えたと、電圧が長いため、中間地点の照度が「埠頭保安設備基準値」の「三ルクス」に達してなかったのと経年劣化での減光率を考慮し「最低五ルクス程度」まで高める為の調整に苦勞した。照明灯のポール高さが五メートル、経間が約一メートルだったので、ちょうど中間地点での実測値は「二・五ルクス程度」であり、基準値に達していなかった。最も暗いところでは「一ルクス未満」で、ほとんど真っ暗な状態だった。中間地点での照度を上昇させる為に行った方法として、メーカ

まで一週間も無い中で発電機の改造を行うと言ったことに「もしだめだったら」という不安もあったが、電気の理論からすれば、推察以外には考えられなかった。躊躇することなく改造工事を行った。結果としてリアクトルが進み力率を吸収し、通常電圧二〇〇Vを出力するに至った。

今回、当社のユビキタスに対する取り組みを発表出来る機会をいただき、発表関係者の方々にお礼を申し上げます。日々進化して行くコンピュータ社会のなかで、更なる努力をし、会社発展のため邁進して行きたいと思っております。

27日に講習会
国交省から講師招く
当協会は、十月二十七日午後二時から郡山市のビッグパレットふくしまで電気通信設備の施工管理に関する講習会を開催する。

KOTO
安全と快適を求めて。

交通管制システム/道路気象観測システム
交通信号機/道路情報表示システム

小糸工業株式会社

東北支店 TEL.022-225-7501 FAX.022-267-5053

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

ワイム

株式会社山形電機製作所
福島営業所 所長 渡辺良邦

福島市大森字宮ノ前54-5 〒960-1101
TEL(024)546-1321 FAX(024)546-1322
支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工場/山形・北海道千歳

私たちの仕事は
安全で円滑な交通環境づくり。

交通管制システム機器・交通信号機・交通情報提供装置

株式会社 京三製作所

仙台支店 TEL(022)262-3245 FAX(022)223-5708
URL http://www.kyosan.co.jp

営業品目 受配電盤・制御盤・監視盤・FAシステム
ビル監視システム・分電盤・開閉器盤

TOWA

東和電機工業株式会社
郡山営業所 所長 蒔苗 聡

福島県郡山市開成5-18-20 〒963-8851
TEL(024)933-3299 FAX(024)934-5178
本社・青森工場 〒038-1216
青森県南津軽郡藤崎町大字榎字和田88-1
TEL(0172)69-5111 FAX(0172)69-5122

安全と信頼

日本信号株式会社

■営業品目 ●交通信号製品 ●駐車場機器製品
●入退館システム

■東北支店
〒980-6122 仙台市青葉区中央1丁目3番1号(AERビル)
TEL(022)261-8371(代) FAX(022)225-4627

配電盤
制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎(024)934-0859
FAX(024)934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所/仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

協会支部だより

福島支部

「道の日」美化作戦に参加して

私たち福島支部会員は、八月十日の「道の日」美化作戦にあたり、県道の地下歩道、県庁前地下道・郷の目地下道・森合地下道・岡部地下道の計四箇所、それぞれ朝九時から十一時過ぎまでの約二時間にわたり、通路や照明器具の清掃、ゴミ拾い等の美化奉仕作業を行いました。「道の日」美化作戦への参加は、今年で第三回目となります。

現場で一番困ったことが、ツバメが照明器具に巣を作っていたことです。そのため、通路もツバメの糞で汚れていました。巣の中には、ピーピーと鳴くヒナがおり、一度はクモの巣をほつきで

私おつとしましたが、飛べないヒナが落ちそうになったため、慎重にこの清掃作業を行うことになりました。

うれしかったことは、清掃作業中、通りかかった市民の方に「苦勞様です」と声を掛けていただけました。より一層、力を入れて清掃に取り組みました。また、蛍光灯が一台消えていましたので、FL40ワットランプ一本を取り替えました。

清掃が終了し、きれいになった地下通路に、自分たちもうれしく思いました。ツバメも安心してヒナに餌を与えています。今後も、子供から大人まで、多くの市民に活用される地下通路であったほしいと願います。

（光和電設工業㈱・宍戸和美）

郡山支部

協働の精神

さる七月、郡山ユラックス熱海において第二回安全大会が実施され、福島労働局安全衛生課長様より「災害事例から見る安全管理」と題した講話を受講しました。

その中で、職場における危険性又は有害性の調査（リスクアセスメント）を実施し、この結果

に基づき必要な措置を講じることや項目があるりました。これは、大企業ならまだしも一企業だけでは大変難しいことです。

（飛田尚宏）

いわき支部

道をきれいに

八月十日の「道の日」に、八月の「道路ふれあい月間」に伴う「道路清掃美化作業」が実施され

ました。安全で快適な道路環境を保持するために道路の清掃と共に交通安全施設の点検や整備なども行ないました。これは

道路愛護精神の普及を目的に官民一体で毎年実施されています。いわき市

（いわき電工工業㈱・末永英隆）

白河支部

地域活性化を模索

さる八月十日、県南建設事務所主催による「道の日」クリーンロードキャンペーンに白河支部として参加しました。

この事業には、昨年度より参加しておりまして、今年で二年目になります。

会員相互の活動が最近では少なくなりましたので、この事業で各社の現場の方々と会うのには良い機会となったようです。

追伸 十月にラーメンフェスティバルが開催されますので、新聞やテレビ等の案内をご覧の上、ぜひ白河に足をお運び下さい。（白河電設㈱・相筈恵一）

相双支部

例会と納涼会開く

相双支部例会及び納涼会が八月二十五日に南相馬市原町の長寿において開催されました。八巻支部長より挨拶の中で、

飯館村の災害応急活動の支援協定を福島支部と連名で村長と結んだこと、さらに地域に対する

貢献やボランティア活動の重要性を再認識するよう話がありました。

技術委員会からは今後

労働保険適用促進 10月は促進月間 「雇ったら、入る」

事業主の皆さん、加入手続きはお済みですか。労働者を一人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。福島労働局へお出かけ下さい。

若松にも大型物件が発注され、民間の仕事もだいぶ動いて来ました。

会津支部の目玉は、何と言っても学鳳高校の新築工事であり、開校は予定通りですが、一学期は今までの校舎を使い、二学期から新しい校舎に移るようです。

九月二十三日は「会津祭り」で市内も大変な賑わいとなり、他県からも大勢の観光客が来ていた様です。

これからの会津は紅葉の季節となり、食べ物も美味しく景色も良く、今の時期に、是非、会津

編集後記

広報委員
浜田和夫

今年も早いもので、もう十月です。こういう話をするのは歳をとった証拠だとよく言われますが、全くそのとおりです。ある先輩に同じような話をしたところ、「その程度ならまだいいほうだ。俺なんか、朝に起きたらもう死んでしまおう」と言っていました。もうしばらくの間、阿武隈山地の雑木林の紅葉が見事になります。また冬になれば中通りの西の方角に白銀の山並みが見えてくるのが楽しみです。

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

財団法人 東北電気保安協会

福島事業本部	福島市置賜町1-29	☎(024)528-9366
福島事業所	福島市泉字南谷地5-6	☎(024)557-2161
原町事業所	南相馬市原町区上流佐原田432-1	☎(024)22-3568
郡山事業所	郡山市富田町福川原1	☎(024)932-6054
白河事業所	白河市東三坂山2-47	☎(0248)22-6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間字洞42-1	☎(0246)36-1177
若松事業所	会津若松市町北町大字上荒久田字村北147	☎(0242)32-3350
田島事業所	南会津郡南会津町田島字大坪490-1	☎(0241)62-4847
須賀川事業所	須賀川市大字西川字後田78-5	☎(0248)72-9120

電気技術総合コンサルタント！！

自家用電気施設のご相談、お気軽にご相談下さい。

TEMA 会津東北電気管理技術者協会

協会本部／仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレジエザ仙台ビル ☎(022)261-6015

福島県支部	伊達郡川俣町飯坂字戸ノ内5-3	☎(024)566-3087
福島電気管理センター	二本松市油井字漆原町42	☎(0243)22-2676
郡山電気管理センター	郡山市日和町字日向84-5	☎(024)958-5203
会津電気管理センター	会津若松市河東町谷沢字十文字53	☎(0242)75-2518
相双電気管理センター	南相馬市原町区仲町一丁目157	☎(0244)22-2817
白河電気管理センター	白河市東釜子字枇杷山109-2	☎(0248)34-2205
いわき電気管理センター	いわき市平字堂ノ前18	☎(0246)21-9828

高効率、高演色、省エネのセラルクス！！

セラミックメタルハライドランプ **CERALUX**

70W-150W-250W-400W

EYE 岩崎電気株式会社 <http://www.iwasaki.co.jp/>

郡山営業所/〒963-8046 郡山市町東3丁目103番 TEL.024(961)2292

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13
TEL.(022)783-8181

■福島営業所	福島市瀬上町字桜町3丁目12-3	☎(024)553-8551代
■郡山営業所	郡山市大槻町下町東52	☎(024)961-6667代
■いわき営業所	いわき市鹿島町御代一丁目1-1	☎(0246)76-1055代
■原町営業所	南相馬市原町区北原字本屋敷153	☎(0244)23-6106代
■相馬営業所	相馬市権木字北原104-1	☎(0244)35-6350代

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社

東北電材社

福島支店

福島営業所	TEL.(024)553-4165
開発営業所	TEL.(024)553-4165
相馬営業所	TEL.(0244)36-8901
郡山営業所	TEL.(024)934-3065
白河営業所	TEL.(0248)21-0360
いわき営業所	TEL.(0246)75-0700

技術と信用を誇る
電気、機械の総合メーカー！！

DAIZEN

大全電機株式会社

〒984-0002 仙台市若林区鉾町東五丁目7番18号
TEL.(022)288-0701代 FAX.(022)288-0705